

新たに少年消防クラブ結成

福島少年消防クラブ

本市で7つ目となる少年消防クラブ「福島少年消防クラブ」の結成式が11月25日、福島小学校体育館で行われました。

少年消防クラブは、おおむね10～15歳の少年少女により編成されるもので、防火・防災に関する知識を身に付け、地域や家庭における火災の予防を図ることを目的としています。福島少年消防クラブは、福島小学校の3、4年生19人で組織。この日は、代表の徳田孝喜君（同小4年）が「福島地域からの火災をなくすため、火災の予防にクラブ員が一丸となって頑張ります」と決意の言葉を述べました。



家族に囲まれ100歳祝い

末永エイさん 100歳の誕生日

末永エイさん（志佐・笛吹）が12月2日、入所先の介護老人保健施設よかところで100歳の誕生日を迎えました。

末永さんは明治43年生まれで、若いころは農業に従事。手先が器用で、農業の傍らよく子ども服などの縫いものをしていました。

現在、末永さんは同施設で、食事を残さず自分で食べ、食後はフロアで昼寝をするなどゆっくりと過ごしています。この日は、同施設内で家族や施設の人から祝福を受け、寺澤副市長からお祝いの言葉や花束を受けました。



税に理解を深める

税に関する作文

税を考える週間（11月11日～17日）の行事の一環として、松浦市租税教育推進協議会（友広郁洋会長）などが、中学生と高校生を対象に募集した「税に関する作文」の入賞者が決まり、11月24日にきらきら21で表彰式が行われました。

この作文は、将来を担う中学生・高校生が、作文を書くことを通じて、税に関心を持ち、税について正しい理解を深めてもらうことを目的としているものです。今回は平戸税務署管内から約1,730点の応募があり、本市からは11点が入賞しました。入賞者は次の通りです（敬称略）。

【高校】

〈松浦市租税教育推進協議会会長賞〉

夫津木愛美（松浦高校1年）

〈松浦市租税教育推進協議会優秀賞〉

熊本秀美（松浦高校1年）

吉原成美（松浦高校1年）

〈平戸税務署長賞〉

廣山亜里沙（松浦東高校3年）

【中学】

〈松浦市租税教育推進協議会会長賞〉

谷川千広（青島中3年）

〈平戸税務署長賞〉

平川美貴（志佐中3年）

〈長崎県納税貯蓄組合連合会会長賞〉

松本一朗（志佐中3年）

大石里奈（御厨中3年）

〈平戸税務署管内納税貯蓄組合連合会会長賞〉

太田 賢（今福中3年）

辻畑仁美（鷹島中3年）

松尾萌果（福島中3年）



ソフトバレーで交流

勤労者の祭典

第23回勤労者の祭典(松浦市商工業労政推進協議会主催)が12月5日、文化会館で開催されました。

優良従業員表彰では、10事業所から選ばれた10人が表彰を受けました。また、同協議会の会員事業所相互の交流を目的に行われた職場対抗ソフトバレーボール大会には、市内事業所から12チーム、約120人が参加。元気いっぱいのプレーで親睦を深めました。結果は次の通りです。

- ① SAS-B (住商エアバッグ・システムズ(株))
- ② 中興化成 A (中興化成工業(株))
- ③ SAS-A (住商エアバッグ・システムズ(株))



鷹島小児童ミュージカルを熱演

夢と感動 ミュージカル&ミュージックステージ

夢と感動 ミュージカル&ミュージックステージ(市教育委員会主催)が12月5日、文化会館で開催されました。

同ステージでは、松浦少年少女合唱団による合唱、鷹島小3・4年生による太鼓の演奏の後、同校5・6年生32人がミュージカル「鷹島物語 元寇と対馬小太郎」を熱演しました。このミュージカルは、元寇をテーマにしたもので、現在も鷹島に墓が残り地域の人々からまつられている対馬の警護役所役人「対馬小太郎」たちの古里や母親に対する思いを描いたもの。本市星鹿町出身の劇作家岡部耕大さんが脚本と演出を手掛けました。この日集まった約300人の観客からは惜しみない拍手が送られていました。



豊作の感謝と祈願

白浜神社大祭

白浜神社の秋の大祭が12月2日、同神社で行われ、今年の豊作を感謝し、来年の豊作を祈願する「的打ち」と「稲舞」が奉納されました。

的に当たった矢の数で来年の豊凶を占う「的打ち」では、中川明宏宮司が神殿の天井二隅に取り付けられたワラで作られた直径約60cmの的めがけて3本ずつ矢を放ち、すべて命中させました。また、「稲舞」では、今年収穫した稲穂の束を石本貴大君(5歳)が担いで、中川宮司と一緒に舞を奉納。その稲穂を集まった氏子など約60人に配り、来年の豊作を祈願しました。



パンづくりやフラワーアレンジメントに挑戦

松浦東高ならでわ講座

専門知識を市民に教える学校地域開放講座が11月27日と12月4日、松浦東高校(小川琢次校長)で行われ、受講者はパンづくりとフラワーアレンジメントに挑戦しました。

県教育委員会が、学校の教育的機能や施設を開放し、市民の文化活動の促進を図るため毎年開催しているものです。講座は昨年で終了される予定でしたが、東高が3月で閉校することから県と同校の配慮により今年も開講することになりました。

12月4日に行われたフラワーアレンジメント講座では、26人の受講者が生け方などの説明を受けた後、オアシスと呼ばれる水を含んだスポンジにバラやガーベラなどをバランスに気を付けながら生けたり、デンファレなどでコサージュを作ったりしました。

